

| 新  | 旧  | 頁  |
|--|--|----|
| <p><b>1. 都市計画の目標</b></p> <p>1) 都市づくりの基本理念</p> <p>② 本区域の基本理念</p> <p>本区域は、県都である千葉市の中心から20km、都心から約50～60km、県のほぼ中央に位置し、周囲は千葉市、八街市、山武市、大網白里市及び九十九里町に接している。</p> <p>古くは農水産物が集まる問屋街「上総のこがねまち」と呼ばれ、明治以降も商業の中心地、文化・産業の拠点として栄え、昭和29年の市制施行を契機に市街地の形成がすすみ、九十九里地域の中核都市としての役割を担いながら発展を遂げてきた。</p> <p>近年は、国道126号（東金バイパス）と千葉東金道路の開通による東京方面へのアクセス性の向上とともに、住宅地開発や産業拠点整備などが着実に進展した。さらに、<u>千葉県内の圏央道が全線開通することにより、広域道路ネットワークの更なる充実が図られることが期待される。</u></p> <p>今後も圏央道の更なる整備効果を受けとめ、地域振興策を進めるとともに、東日本旅客鉄道東金線の3駅を核として、都市機能の集積を図り、人・もの・情報が交流・連携する地方中核都市として効率的で活力と賑わいのあるまちづくりを進めていく必要がある。</p> <p>これらを踏まえて、本区域の都市づくりの目標を次のとおり定める。</p> | <p><b>1. 都市計画の目標</b></p> <p>1) 都市づくりの基本理念</p> <p>② 本区域の基本理念</p> <p>本区域は、県都である千葉市の中心から20km、都心から約50～60km、県のほぼ中央に位置し、周囲は千葉市、八街市、山武市、大網白里市及び九十九里町に接している。</p> <p>古くは農水産物が集まる問屋街「上総のこがねまち」と呼ばれ、明治以降も商業の中心地、文化・産業の拠点として栄え、昭和29年の市制施行を契機に市街地の形成がすすみ、九十九里地域の中核都市としての役割を担いながら発展を遂げてきた。</p> <p>近年は、国道126号（東金バイパス）と千葉東金道路の開通による東京方面へのアクセス性の向上とともに、住宅地開発や産業拠点整備などが着実に進展した。さらに、<u>平成25年4月に圏央道の東金ジャンクションから木更津東インターチェンジが開通したことにより、広域道路ネットワークの充実が図られている。</u></p> <p>今後も圏央道の更なる整備効果を受けとめ、地域振興策を進めるとともに、東日本旅客鉄道東金線の3駅を核として、都市機能の集積を図り、人・もの・情報が交流・連携する地方中核都市として効率的で活力と賑わいのあるまちづくりを進めていく必要がある。</p> <p>これらを踏まえて、本区域の都市づくりの目標を次のとおり定める。</p> | p2 |
| <p>●地域間交流と産業活性化の基礎となる広域道路ネットワークの構築、産業拠点の形成</p> <p>・圏央道、千葉東金道路、東金九十九里有料道路等の広域道路ネットワークによる交通利便性を生かし、既存の工業・企業団地や<u>圏央道等のインターチェンジ周辺</u>に、多様な就業機会の場を創出する産業拠点の形成を目指す。</p>   | <p>●地域間交流と産業活性化の基礎となる広域道路ネットワークの構築、産業拠点の形成</p> <p>・圏央道、千葉東金道路、東金九十九里有料道路等の広域道路ネットワークによる交通利便性を生かし、既存の工業・企業団地や<u>圏央道東金インターチェンジ周辺</u>に、多様な就業機会の場を創出する産業拠点の形成を目指す。</p>   | p2 |
| <p><b>2) 地域毎の市街地像</b></p> <p>●本区域北西部の丘陵地を里山ゾーンとし、森林、谷津田、集落地、小川などの里山環境の保全に配慮し、基盤整備の整った住宅地については、住環境の保全を図る。</p> <p>また、<u>圏央道等のインターチェンジ周辺</u>については、圏央道と<u>千葉東金道路等</u>の結節点に近接する優位性を生かし、<u>産業拠点の維持及び創出を図る。</u></p>   | <p><b>2) 地域毎の市街地像</b></p> <p>●本区域北西部の丘陵地を里山ゾーンとし、森林、谷津田、集落地、小川などの里山環境の保全に配慮し、基盤整備の整った住宅地については、住環境の保全を図る。</p> <p>また、<u>圏央道東金インターチェンジ周辺</u>については、圏央道と<u>千葉東金道路</u>の結節点に近接する優位性を生かし、<u>千葉東テクノグリーンパークにおいて産業集積を図る。</u></p>  | p3 |
| <p>●本区域南東部の平野地帯を田園ゾーンとし、農地、集落地、河川などの田園環境の保全に配慮する。</p> <p>また、<u>東金九十九里有料道路のインターチェンジ周辺</u>や東金・小沼田工業団地、二之袋地区及び武射田地区の既存工業団地においては、広域幹線道路に隣接する優位性を生かし、産業拠点の<u>創出及び維持</u>を図る。</p>   | <p>●本区域南東部の平野地帯を田園ゾーンとし、農地、集落地、河川などの田園環境の保全に配慮する。</p> <p>また、東金・小沼田工業団地、二之袋地区及び武射田地区の既存工業団地においては、広域幹線道路に隣接する優位性を生かし、産業拠点<u>としての維持</u>を図る。</p>   | p3 |

| 新  | 旧   | 頁  |
|--|---|----|
| <p><b>3. 主要な都市計画の決定の方針</b></p> <p>1) 都市づくりの基本方針</p> <p>② 広域幹線道路の整備に対応した業務機能等の誘導に関する方針</p> <p>圏央道や千葉東金道路及び国道126号等の広域幹線道路網の結節点としての優位性を生かし、多彩な産業展開の受け皿づくりとして、東金インターチェンジ<u>周辺や東金九十九里有料道路のインターチェンジ周辺への</u>戦略的な企業誘致を図り、雇用機会の創出等により、地域の活性化を図る。</p>  | <p><b>3. 主要な都市計画の決定の方針</b></p> <p>1) 都市づくりの基本方針</p> <p>② 広域幹線道路の整備に対応した業務機能等の誘導に関する方針</p> <p>圏央道や千葉東金道路及び国道126号等の広域幹線道路網の結節点としての優位性を生かし、多彩な産業展開の受け皿づくりとして、東金インターチェンジ<u>周辺の千葉東テクノグリーンパークへの</u>戦略的な企業誘致を図り、雇用機会の創出等により、地域の活性化を図る。</p>   | p5 |
| <p><b>b 工業地</b></p> <p>圏央道等の整備状況や既存の工業団地等の立地状況を踏まえ、工業地を配置する。</p> <p>7. 圏央道東金インターチェンジ周辺地区</p> <p>圏央道と千葉東金道路の結節点となる<u>千葉東テクノグリーンパークを中心とした周辺地域について</u>、交通利便性を生かし、研究開発施設や物流施設等の集積を図る。</p> <p><u>4. 東金九十九里有料道路のインターチェンジ周辺地区</u></p> <p><u>東金九十九里有料道路のインターチェンジ周辺については、多様な産業を意識した企業誘致等により新たな産業の創出を図る。</u></p> <p>5. 既存工業地</p> <p>既に工業団地として形成された東金・小沼田工業団地等について、今後も良好な工業環境の保全・育成を図る。</p>   | <p><b>b 工業地</b></p> <p>圏央道等の整備状況や既存の工業団地等の立地状況を踏まえ、工業地を配置する。</p> <p>7. 圏央道東金インターチェンジ周辺地区</p> <p>圏央道と千葉東金道路の結節点となる<u>千葉東テクノグリーンパークについて</u>、交通利便性を生かし、研究開発施設や物流施設等の集積を図る。</p> <p>4. 既存工業地</p> <p>既に工業団地として形成された東金・小沼田工業団地等について、今後も良好な工業環境の保全・育成を図る。</p>   | p6 |
| <p><b>3) 都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針</b></p> <p>① 交通施設の都市計画の決定の方針</p> <p><b>a 基本方針</b></p> <p>7. 交通体系の整備の方針</p> <p>本区域については、圏央道、千葉東金道路及び国道126号等の広域幹線道路網や、東日本旅客鉄道東金線及び路線バス等の公共交通網が形成されている。</p> <p>今後は、圏央道の整備進展の効果を生かすとともに、中心拠点や地域拠点等が連携した集約型都市構造を目指すため、本区域の交通体系の整備方針を次のように定める。</p> <p>●<b>地域間交流と産業活性化の基礎となる広域道路ネットワークの構築</b></p> <p>圏央道の全線開通による波及効果を受けとめるべく、周辺環境との調和を図りながら、圏央道の<u>スマートインターチェンジ設置の実現に向けた取組を進める</u>とともに、ネットワーク機能の更なる向上を図る。</p> <p>また、近隣市町との連携のもと、国道126号の4車線化の促進等、既存国道の機能充実を図る。</p> | <p><b>3) 都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針</b></p> <p>① 交通施設の都市計画の決定の方針</p> <p><b>a 基本方針</b></p> <p>7. 交通体系の整備の方針</p> <p>本区域については、圏央道、千葉東金道路及び国道126号等の広域幹線道路網や、東日本旅客鉄道東金線及び路線バス等の公共交通網が形成されている。</p> <p>今後は、圏央道の整備進展の効果を生かすとともに、中心拠点や地域拠点等が連携した集約型都市構造を目指すため、本区域の交通体系の整備方針を次のように定める。</p> <p>●<b>地域間交流と産業活性化の基礎となる広域道路ネットワークの構築</b></p> <p>圏央道の全線開通による波及効果を受けとめるべく、周辺環境との調和を図りながら、圏央道の<u>スマートインターチェンジ及びサービスエリアの設置を目指す</u>とともに、ネットワーク機能の更なる向上を図る。</p> <p>また、近隣市町との連携のもと、国道126号の4車線化の促進等、既存国道の機能充実を図る。</p> | p8 |

| 新   | 旧  | 頁   |        |                 |                              |     |
|---|--|-----|--------|-----------------|------------------------------|-----|
| <p>イ. 整備水準の目標</p> <p><b>【道路】</b></p> <p>都市計画道路については、現在、市街地面積に対し約 1.7km/km<sup>2</sup> (平成 27 年度末時点) が整備済みであり、引き続き交通体系の整備の方針に基づき、地域の実情に応じて効率的に整備を進める。</p>  | <p>イ. 整備水準の目標</p> <p><b>【道路】</b></p> <p>都市計画道路については、現在、市街地面積に対し約 1.6km/km<sup>2</sup> (平成 22 年度末現在) が整備済みであり、引き続き交通体系の整備の方針に基づき、地域の実情に応じて効率的に整備を進める。</p> | p9  |        |                 |                              |     |
| <p>③ その他の都市施設の都市計画の決定の方針</p> <p><b>C 主要施設の整備目標</b></p> <p>おおむね 10 年以内に整備を予定する施設は、次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="311 556 1187 697"> <thead> <tr> <th data-bbox="311 556 519 602">都市施設</th> <th data-bbox="519 556 1187 602">名称等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="311 602 519 697">ごみ処理施設</td> <td data-bbox="519 602 1187 697">環境クリーンセンター (仮称)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) おおむね 10 年以内に着手予定及び施工中の施設等を含むものとする。</p> | 都市施設   | 名称等 | ごみ処理施設 | 環境クリーンセンター (仮称) | <p>③ その他の都市施設の都市計画の決定の方針</p> | p12 |
| 都市施設  | 名称等  |     |        |                 |                              |     |
| ごみ処理施設  | 環境クリーンセンター (仮称)  |     |        |                 |                              |     |